



2014年(平成26年) 7月24日 木曜日

天候 曇り時々雨 気温 25.0℃ 湿度 75%

朝日新聞名古屋本社 電話:052-231-8131 www.asahi.com

木曜日 享月

大垣署とシーテックの主なやりとり ※シーテック作成の議事録から 「警」が大垣署、「C」がシーテック

13年8月7日 (7月末に岐阜県大垣市内で風力発電について学ぶ勉強会があったこと)とお互いに確認

警 勉強会の主催者である三輪唯夫氏や松島勇至氏が風力発電に関わらず、自然に手を入れる行為自体に反対する人物であることをご存じか。

C 何でも反対すると聞いている。

警 松島、三輪両氏は活発に自然破壊反対や希少動物保護の運動にも参画し、法律事務所「ぎふコラボ」ともつながりを持っている。また、自然破壊につながることに敏感に反対する近藤ゆり子氏という人物が市内に居るが、ご存じか。0歳を過ぎているが、東京大学を中退しており、頭もいいし、しゃべりも上手であるから、このような人物とつながるとやっかいになると思われる。大々的な市民運動へと展開すると、御社の事業も進まないことになりかねない。今後、情報をやりとりすることで、平穏な大垣市を維持したいので協力をお願いします。

14年2月4日 警 松島氏がぎふコラボの後援会役員になった。風力発電事業に関して相談を行った気配がある。

5月26日 警 三輪氏は、ぎふコラボの事務局長と強いつながっており、そこから全国に(運動が)広がっていくことを懸念している。現在、事務局長は病気のため入院中であるので、すぐに次の行動に移りにくいと考えられる。

6月30日 警 近藤氏が、風力発電事業の反対活動に本腰を入れようとしている。反原発、自然破壊禁止のメンバーを全国から呼び寄せることを懸念している。 C 新しい情報が入り次第、連絡する。

岐阜県警が個人情報漏洩

風力発電 反対派らの学歴・病歴

岐阜県大垣市での風力発電施設建設をめぐる、同県警大垣署が事業者の中部電力子会社「シーテック」(名古屋)に、反対住民の過去の活動や関係のない市民運動家、法律事務所の実名を挙げ、連携を警戒するよう助言したうえ、学歴または病歴、年齢など計8人の個人情報漏洩していた。朝日新聞が入手した同社の内部文書でわかった。地方公務員法(守秘義務)違反にあたる可能性もある。

大垣署が中電子会社へ

企業肩入れ 警察に憤り

名指しの住民、抗議へ

地域の問題に声を上げたなら、監視されてしまうのか。中部電力の子会社「シーテック」(名古屋)の穂区が、岐阜県大垣市で進める風力発電施設の建設に、県警大垣署が反対住民や市民運動家らの個人情報などを同社に提供し、対策を協議していた。署に名指された人たちは、嫌に驚き、憤った。

「警察は、ものすごくいかに対運動になるんじゃないかと、勝手に心配している。こっちはびくびくしてちゃうよ」。風力発電施設の反対運動をした大垣市上石津町に田んぼや山林に囲まれた農村地帯。シーテックは地元住民を三重県松島勇至さん(62)は戸惑った。大垣署に名前を挙げられた1人だ。

「警」は、松島さんや三輪さんの共通の知人だ。だが、運動参加を求めているのではない、まず地元で反対の声を上げるのが先だと考え、これまで4、5回、地区で勉強会を重ねてきた。

しかし、毎回、参加者は10人前後にとどまり、二三年前、近所のゴルフ場開発に反対した時比べ、盛り上げに苦労している。

「大垣署やシーテックに肩入れする警察の体質が信じられない。地域の問題をまじめに考えようとしていないのに、なぜ税金を使ってまで監視されるのか。大垣署やシーテックに抗議を考えたい」。

「暴力団扱い」「運動つぶし」

事務局長の女性(57)川林麻中「体の不調まで明らかされた法律事務所(ぎふコラボ)」。反対住民の後援会役員就任と、関係者しか知らない情報もシーテックに告げられていた。所属する山田勇樹弁護士は「憲法違反、国家賠償を求めるとの問題だ」と憤る。

「警」は、松島さんや三輪さんの共通の知人だ。だが、運動参加を求めているのではない、まず地元で反対の声を上げるのが先だと考え、これまで4、5回、地区で勉強会を重ねてきた。

「大垣署にこのような人物とつながると、やっかいになる」と名指された人。

警察から教えてくれた



岐阜県大垣市上石津町の風力発電施設建設予定地。大垣署とシーテックのやりとりは、この地域で行われている。

建設予定地にクマタカ

岐阜の風力発電 アセスで指摘

岐阜県の大垣市上石津町と関ヶ原町にまたがる山林で建設計画が進む風力発電施設の予定地周辺で、希少種のクマタカの生息が確認されたことがわかった。国の天然記念物のイヌワシの生息への影響も懸念される。同県環境影響評価審査会の委員からは「絶滅が危惧される生物が残る地域を開発するなどあり得ない」として、計画の中止や見直しを求める意見が相次いでいる。



風力発電施設の建設が計画されている岐阜県大垣市と同県関ヶ原町の尾根筋。手前は同市立多良小学校(5月20日)



建設計画をめぐっては、岐阜県警が、中部電力子会社で事業者の「シートック」(名古屋市中区)に個人情報や年齢や最終学歴などを提供したことが発覚。この文書などによると、同社は2012年に計画の一部変更した際、予定地の周囲2キロメートル以内を調査して実施してきた環境調査を「中間報告書」として県に提出した。この中にクマタカの出現状況、イヌワシの確認位置情報などが記されていた。

県は当時、25人の審査会委員に照会した。その結果、意見を述べた6人のうち3人がイヌワシやクマタカへの影響を懸念した。

委員の岐阜大応用生物科学部の浅野玄准教授は、「イヌワシ、クマタカの行動範囲は極めて広く、避けることはほぼ不可能。中間報告書は「イヌワシが偶発的に利用する」としているが、滋賀県では繁殖が確認されており、行動圏に含まれていると考えべきだ」と厳しく指摘。アセスは中止し、事業の取り下げを求めた。

また、委員の窪田一仁(日本野鳥の会西濃ブロック代表)は「クマタカの行動圏内と推定される(風車16基中)5基の設置をとりやめ」と計画の見直しを主張。

猛禽類の保護

環境省によると、全国でイヌワシは400〜650羽、クマタカは約2千羽それぞれ生息している。イヌワシは20年前に比べて繁殖成功率が半減しており、絶滅危険性が高まっているという。猛禽類は切り立った崖や林地などにすみ、ため、ダムや林道などの建設に伴い、生息環境が荒らされている。特に風力発電施設では、高さ100メートル前後の風車が尾根筋などに建てられるため、希少鳥類が衝突死している。

保全策を作る

事業者の中電子会社「風力発電施設の建設は2012年から正式に国の環境アセス法の対象となっており、シートックは現在、環境影響とその対策などを含めた準備書を作成中だ。秘書・広報担当課の小川十永課長は「中間報告書やその後専門家からのアドバイスをいただき、保全対策を立案している」としている。

準備書段階で岐阜県は再度、審査会を開いて専門家の意見を聞いたうえで、知事意見を述べる。

(編集委員・伊藤智章)

2014. 10. 13 朝日新聞

予定地に絶滅危惧種

大垣の風力発電クマタカが生息

中部電力子会社「シートック」(名古屋市中区)が大垣市上石津町と関ヶ原町で計画している風力発電事業の予定地周辺で、絶滅危惧種のクマタカの生息が確認されたことがわかった。市民の情報公開請求で県が環境影響評価文書を開示した。

文書などによると、2012年に事業計画の一部変更する際に、同社が二年間にわたって実施した周囲の調査結果を県に報告。クマタカの出現状況や絶滅危惧種の国の天然記念物のイヌワシの確認位置情報などが記されていた。

2014. 10. 15 中日新聞 岐阜版

県が同年、環境影響評価審査会の委員に意見を照会すると、三人の委員から事業計画の見直しやクマタカに関する詳細な調査などを求める声が上がった。委員の浅野玄准教授は、伊吹山系にイヌワシ、クマタカが複数つがいで生息していることがわかった。建設予定地が彼らの行動圏を避けることはほぼ不可能と指摘。滋賀県側で繁殖しているイヌワシの行動圏に含まれるとの考えを示し、「環境影響評価調査は中止し、事業を取り下げるべきだ」としている。本紙の取材に、上石津町・上級治屋自治会の三輪唯夫会長は「希少種がいるといううわさは前からあった。地元で環境に対する意識を高めていきたい。」と指摘。浅野准教授も「希少種がすめる森を守ることに大事。事業の必要性は感じない」とあらためて強調した。

シートックは「環境影響評価審査会からの意見を踏まえ、建設事業を進めるために保全対策を作成中」としている。(橋原大輔)

守秘義務違反で告訴

風力発電建設「組織的な問題」 反対住民ら

大垣市などで計画された風力発電施設の守秘義務違反の情報をシートックに伝えたとして、容克の社員に伝えたと建設をめぐり、大垣署 警察不詳とした真意を、子会社シートック(名古屋市中区)に反対住民ら 告訴した。大垣署 警察不詳とした真意を、子会社シートック(名古屋市中区)に反対住民ら 告訴した。大垣署 警察不詳とした真意を、子会社シートック(名古屋市中区)に反対住民ら 告訴した。大垣署 警察不詳とした真意を、子会社シートック(名古屋市中区)に反対住民ら 告訴した。

また、住民らは県公安委員会に同日、苦情申立書を提出した。大垣署が収集した情報やシートックなどに伝えられた内容、情報収集活動をした警察職員などを開示するよう求めている。

2014. 11. 11 岐阜新聞(夕刊)

県警本部長に注意

県議長 情報漏れ答弁めぐり

風力発電施設の建設に反する住民らの個人情報、県警が名古屋市の事業者に漏出した問題に関する県議会の一般質問で、県警の岡真臣本部長の答弁は

「誠意を感じられない」と、岡口議長によると、翌3日、岡口議長が岡本部長を議長室に呼んで「答弁に配慮してほしい」と申し入れた。岡本部長は「分かりました」と答えたとい

岡口議長によると、翌3日、岡口議長が岡本部長を議長室に呼んで「答弁に配慮してほしい」と申し入れた。岡本部長は「分かりました」と答えたとい

2014. 10. 9
朝日新聞

業者と接触「業務」

情報漏洩問題 岐阜県警が回答

岐阜県大垣市での風力発電施設建設をめぐる、反対運動に関わりがない市民運動家らの個人情報事業者が、住民の抗議に対し、事業者との接触を認めた上で、「通常行っている業務」と回答していたことがわかった。

中部電力の子会社「シーテック」（名古屋）の議

「共産党」が「情報漏れ」など質問。岡本部長は「いずれの質問も答えを差し控える」と答えた。

岡口議長によると、翌3日、岡口議長が岡本部長を議長室に呼んで「答弁に配慮してほしい」と申し入れた。岡本部長は「分かりました」と答えたとい

岡口議長によると、翌3日、岡口議長が岡本部長を議長室に呼んで「答弁に配慮してほしい」と申し入れた。岡本部長は「分かりました」と答えたとい

2014. 11. 26
朝日新聞

県警 謝罪に応じず

大垣の風力発電 業者接触「業務」情報漏えい問題

大垣市などで計画された建設をめぐる、個人

て抗議書や公開質問状に感じない格好。住民を提出した住民らに、らが二十六日に大垣市

県警本部が「通常業務」内で記者会見して「一環」と文書で回答。かにかに「写真」施設建設に反対する

住民らの謝罪要求。住民らの情報を、大垣

2014. 11. 27 中日新聞

署が事業者のシートック（名古屋）に漏らしていた疑いが七月に発覚。これを受けて住民らは同月、説明や謝罪などを求める抗議書や質問状を県警本部長宛てに送った。

回答は十九日付の文書一枚。県警が事実関係を慎重に確認したと

しては「一環」と文書で回答。かにかに「写真」施設建設に反対する住民らの謝罪要求。住民らの情報を、大垣

大垣市などで計画された建設をめぐる、個人



記者会見をする山田秀樹弁護士（左から2人目）ら。大垣市笠井2丁目

2014. 11. 27 朝日新聞

県警情報漏えい 国賠提訴を準備

大垣 抗議の住民ら表明

大垣市での風力発電施設建設をめぐる、市民らの個人情報事業者に漏らした

受け、抗議した住民らが26日、大垣市内で記者会見し、国家賠償請求の提訴の準備を進めていることを明らかにした。提訴の時期は調整中としている。

大垣市などで計画された建設をめぐる、個人



記者会見をする山田秀樹弁護士（左から2人目）ら。大垣市笠井2丁目

2014. 12. 10 岐阜新聞

2014. 12. 12 中日新聞

住民告発状を受理

大垣署が風力発電車 個人情報事業者を中部電力子会社に反対する住民らの会社にシートック（名古屋）に漏らしていた疑いが七月に発覚。これを受けて住民らは同月、説明や謝罪などを求める抗議書や質問状を県警本部長宛てに送った。

古屋市）に伝えていた問題で、岐阜地検は、対象とされた住民らが地方公務員法の守秘義務違反の疑いで提出した告発状を十日付で受理したと発表した。

2014. 11. 26 朝日新聞

情報伝達問題 「業務の一環」 県公安委回答

大垣市などで計画された建設をめぐる、個人

大垣署が事業者のシートック（名古屋）に漏らしていた疑いが七月に発覚。これを受けて住民らは同月、説明や謝罪などを求める抗議書や質問状を県警本部長宛てに送った。